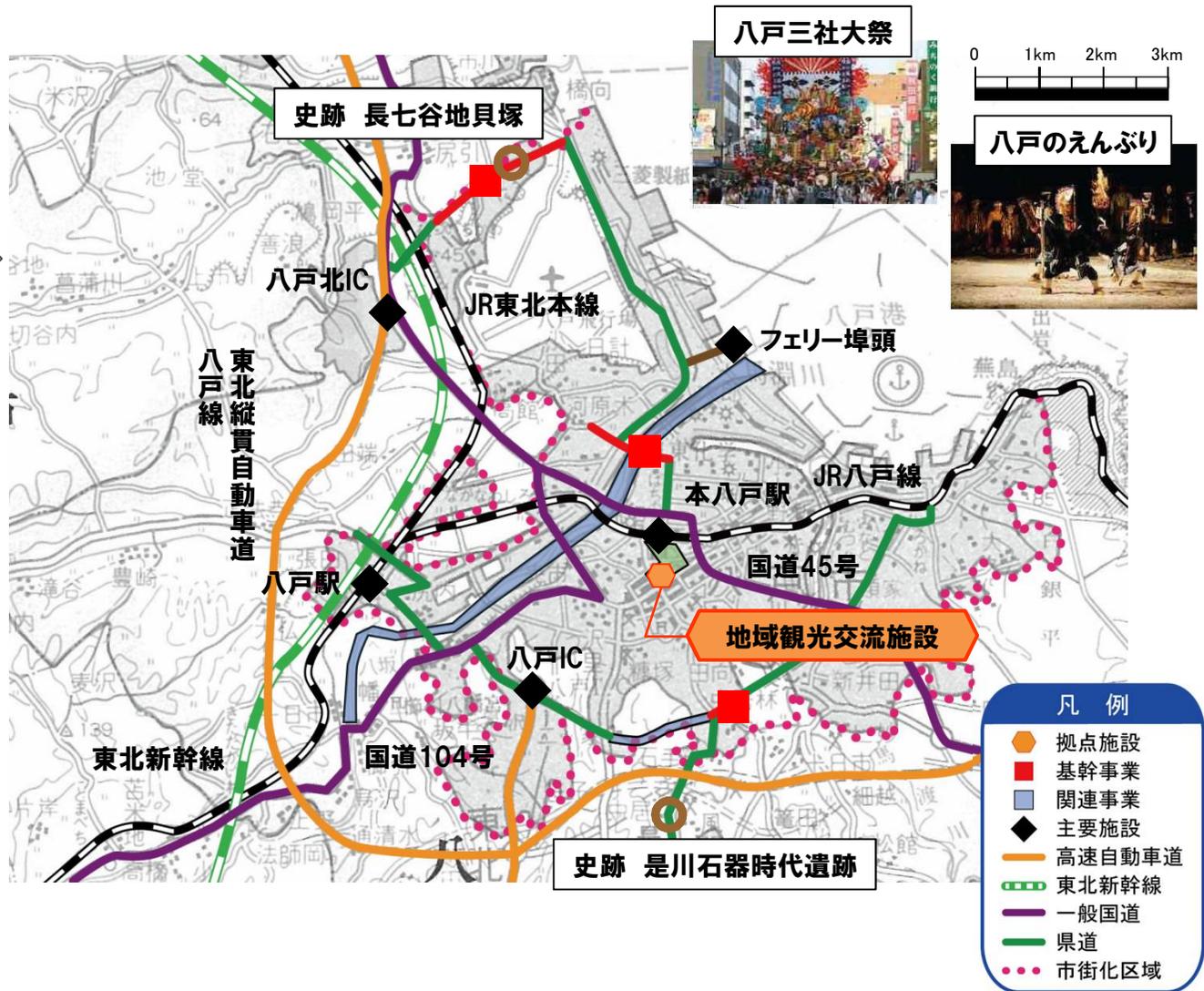
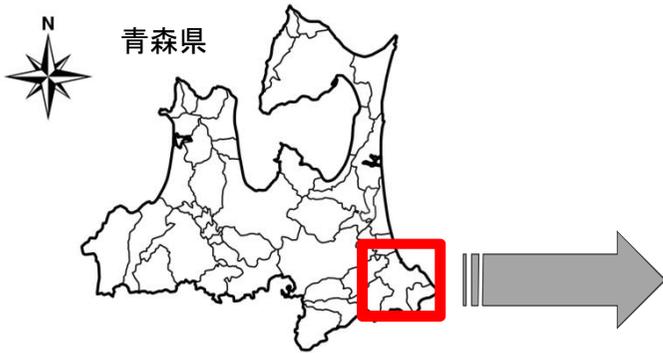


八戸地域広域的な地域活性化基盤整備計画【計画の概要】

計画のポイント

・八戸地域において、国指定の重要無形民俗文化財である文化的資源の展示・伝統芸能の公演を活かし、**中心市街地の観光拠点への広域来訪者の増加**を図る。そのために必要な**八戸市中心市街地へのアクセスを改善**するための道路整備を行う。



1. 計画の目標

中心市街地での渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上により、中心市街地の観光拠点への広域からの来訪者を増加させ、観光を活性化し地域社会の自立的な発展を目指す。

2. 目標を定量化する主な指標

年間宿泊客数(万人):
56(H18年度)→58(H24年度)
街なか交流人口(人):
4,200(H18年度)→4,300(H24年度)

3. 主な事業

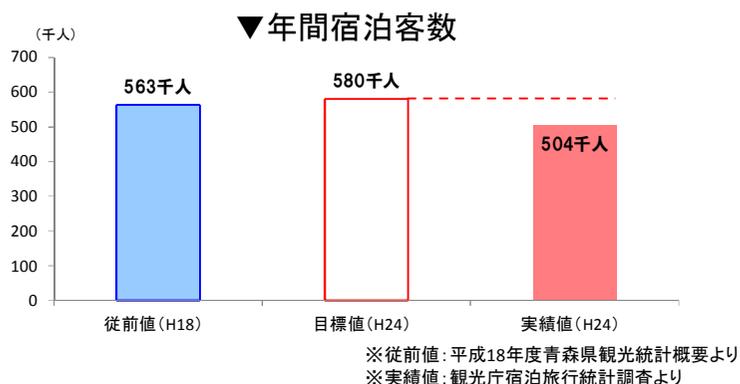
道路

4. その他

都市再生整備計画(八戸市)との連携

八戸地域広域的な地域活性化基盤整備計画【事後評価】

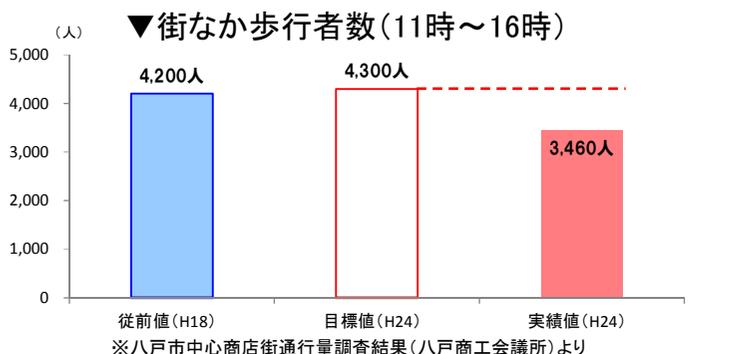
広域的特定活動	八戸市の中心市街地に計画される地域観光交流施設において、国指定の重要無形民俗文化財である「八戸三社大祭」・「八戸えんぶり」の文化的資産の展示・伝統芸能の公演を行い、地域外の広域からの来訪者を増加させる						
目標	中心市街地での渋滞解消と中心市街地へのアクセス向上により、中心市街地の観光拠点への広域からの来訪者を増加させ、観光を活性化し地域社会の自立的な発展を目指す						
目標を定量化する指標		指標	定義	目標と指標及び目標値の関連性	指標値		
					従前値(H18)	目標値(H24)	実績値(H24)
	①	年間宿泊客数(千人)	八戸市年間宿泊客数	中心市街地の観光拠点へのアクセス性を向上することにより、年間宿泊客数の増加を図る。	563千人	580千人	504千人
②	街なか交流人口(人)	街なか歩行者数(11時～16時)	中心市街地の観光拠点へのアクセス性を向上することにより、街なか交流人口の増加を図る。	4,200人	4,300人	3,460人	



【拠点施設「地域観光交流施設」】



【基幹事業 沼館百石線(沼館大橋)】



【基幹事業 白銀市川環状線(桔梗野)】



【関連事業 八戸環状線(糠塚)道路改築事業】



未達成の要因 ・年間宿泊客数及び街なか歩行者数の減少は、東日本大震災後の東北地方の観光客減少、八戸市の人口減少などが要因として考えられる。